

# 鷗友

東京都立白鷗高等学校同窓会 鷗友会

## 「水魚の交わり」

鷗友会理事長 土屋 雅 司

三国志がわが国で知られるようになったのは、正史の三国志は平安初期に日本に渡来した漢籍として挙げられている。登場人物だと8世紀には書物に記述があるらしい。江戸時代初期には三国志演義が伝わり、講釈師などにより庶民にもよく知られるようになったようである。

私も含め、日本人に好まれているのは三国の内の蜀の諸葛亮(孔明)ではなからうか。蜀の皇帝となった劉備(玄德)の不遇時代に三顧の礼を以って迎えられ、大局観のある軍師として、天下三分の計に沿って蜀の建国に貢献し、皇帝二代を支えて、魏の司馬懿(仲達)との合戦中に亡くなった歴史上の人物であり、日本人の名前に結構あるようである。

この諸葛亮と劉備の関係を表す故事成語として「水魚の交わり」がある。中国文学の専門家である井波律子氏によれば、侠の世界、言い換えれば全人格的信頼関係にあることを指すとのことである。侠というと日本では侠客となり、男気とかの意味に使われるが、元々は違ったのかもしれない。お互いに信頼しあい、その間には打算のない付き合い、三国志関連の書物を読む都度にうらやましいと思う関係である。

物心ついてから沢山の友人ができ、親友と思ってもよい人も多少は持っていると考えている。会社勤めになると友人もできるが、時々は打算が働いてしまう。大学へ入った当初はしっかりと勉強しようなどと思つたものの、すぐに友人・知己を作つて社会勉強ができればいい、と妥協してしまい、「低空飛行だったね」と就職時の面接で言われたほどであった。

最近の風潮をみると、猫も杓子もスマホの時代になり、ガラケーと呼ばれる通話機能主体の携帯電話もそろそろ新しい製品が出なくなってしまうのではなからうか。高校生はもとより、小学生までもがスマホのライン繋がりで、短文でのコミュニケーションを図る時代になって、友人との付き合いも深さよりは広さが評価されているようである。そうになると、「水魚の交わり」など死語になってしまふのではなからうか。

私の学年(白17回)も白鷗卒業50年を迎える。最後の同期会を計画しているが、打算もなくなった高校時代の友人と親睦を深め、少しでも「水魚の交わり」に近づきたいものである。

## 鷗友会法人化についてのお知らせ

鷗友会では、平成25年度より組織の法人化について検討しています。法人化を目指す主たる理由は、保有資産を安全で適切に管理するためと、組織の担い手の変化にかかわらずしっかりと同窓会運営を行うためです。現在は、鷗友会が移行しうるに適切な法人を一般社団法人と考え、定款策定その他の準備をすすめているところです。詳細については次号にて報告いたします。

## 「鷗友」について

消費税増税による郵送料増大に対応するため、来年度より、鷗友の発行を現在の年二回から年一回に変更致します。これに伴い掲載記事を改変し、これまで掲載していました同期会報告や支部便りに加えて、在校生の記事などを新たに掲載する予定です。より充実した内容で会員の皆様にお楽しみいただけるよう努めますので、今後ともご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

## ◇鷗友会年末年始の予定◇

年内最終	12月26日(金)
閉室	12月27日(土)
開始	1月8日(木)
開始	平成27年1月9日(金)

## 平成26年度鷗友会総会

7月6日、上野精養軒にて今年度の総会が開催されました。前日の悪天候と打って変わった汗ばむ陽気の中、約100名の方々にご出席を賜りました。

司会の松浦副理事長による開会の辞に続き、土屋理事長が理事長就任の挨拶と鷗友会を会員の交流の場としてより活性化させていく決意を話されました。

顧問の若井校長より、奨学金等の鷗友会の支援に対する感謝の言葉をいただき、白鷗高校の近況として、東大進学率の向上を含む

中高一貫教育の成果についてご報告いただきました。続いて、ご来賓としてご出席を賜った小口鷗友学園理事長より、鷗友学園が来年創立80周年を迎え、華やかな記念式典を予定していることをお話いただきました。

議事に入り、土屋理事長が議長となり、平成25年度事業報告、平成26年度事業の説明、平成25年度決算報告、平成26年度予算の説明が行われました。平成26年度の重要な事業として、鷗友会の法人化、鷗友の発行形式の変更、卒業アルバム

ムのデータ化について、理事長より詳しい説明が行われました。また、土屋理事長の理事長就任に伴い、新たに大和英之理事(白26回)が副理事長に、津久井慎一さん(白26回)が監事に就任することが報告されました。新たに事務局職員となられた須藤みゆきさん(白43回)を加え22名体制となった理事会の紹介があり、拍手をもって承認され、議事は滞りなく終了致しました。

今年、春に真打となられた落語家の桂やまと師匠(田中秀樹さん・白45回)に落語をご披露いただきました。元禄花見踊の出囃子と共に登場され、白鷗高校の思い出、落語家を目指したきっかけ、真打昇進に至るまでを軽快な口調でお話いただきました。その後、師匠が演じる蕎麦屋の呼び歩く声が響くと、会場は江戸時代にタイムスリップ。

「ときそば」の店主と客の滑稽なやりとり、会場中から笑いが起こりました。美味しそうに蕎麦をすすする師匠の素晴らしい演技に、みなさんのお腹の虫もかなり刺激されたことと思います。

残念ながら蕎麦はメニューにありません



しみいただきました。

んでしたが、岡部元校長の乾杯の音頭で始まった会食では、精養軒の美味しい料理をお楽



恒例の新旧校歌を小栗茂子さん(白3回)の指揮で斉唱し、その余韻に浸りつつ、松浦副理事長の閉会の辞で閉幕となりました。白58回 野崎 絵美

### △白鷗祭▽

#### 母をたずねて三世代

本年度の白鷗祭は、九月二十日(土)、二十一日(日)と二日間にかけて開催されました。

鷗友会も例年通り三階事務室内を公開し参加。府立第一高女時代の教科書や試験問題、実際に使われていた竹製モノサシ、創立記念資料、白鷗バツヂの変遷、歴代の制服などの展示を見た来訪者の方たちとの会話を楽しみました。在校生の男子生徒三人



組が訪れた時など、過去の女子生徒の夏服(青地のチェック柄ベストとスカート)を着てみよう、との提案でその気になった一名が女装し、壁に貼ってあった展示用の造花を髪飾りとして合わせ、室内大笑いの写真撮影会をしていました。また、昨年まで生徒会長をしていたという女子生徒さんは、鷗友会にも関心を持っていただいたようで、卒業後の繋がりも大事にしたいという嬉しい言葉をもらいました。両日合わせてのべ四三七名にお立ちよりいただき、おかげさまで盛況に終了しました。



事務室の出入口スペースは、例年通り談話サロン風に仕立てられ、「鷗友会」と書かれた紅白の提灯の下でお茶菓子をつまんでいた。大きな定例総会の映像をご覧いただけるような空間にしました。「み、や、このなかに」ではじまる府立第一の校歌や、今なお歌われ続けている白鷗の校歌が聞こえてきたり、総会の会場で披露された桂やまどさん(落語)や、藤川澄十郎さん(日本舞踊)といった、伝統芸の世界で現在活躍中の卒業

生による舞台の様子を放映していたため、定例総会をご存じなかった見学者(本校卒業生)にとっては興味深いものだったようです。これを機に総会にもぜひご参加いただきたいものです。また、事務局の入口に置かれている卒業生による制作・寄贈の旧校舎全体の百分の一の模型は、通りかかる人々にとって気になる存在のようで、「たしか柔道場がここにあつたね」と旧校舎を懐かしむ卒業生の方や、「今の校舎とちがいますね」「昔も白かつたんですね」「なんだか旧校舎のほうが立派ですね」というように、鷗友会スタッフと話す良いキッカケを作ってくれていたように思います。



ここで、私実際に立ちあうことのできた素敵な母子のエピソードをひとつご紹介したいと思います。入口の模型に興味を持って眺めていた少年が、お母さんに声をかけられ事務室の中に入ってきてくれました。展示された府立第一高女時代の教科書や女学生の手書きスケッチブック、絵画や写真などを紹介するうち、過去の卒業ア



ルバムも、当会で保管されているものであればお見せすることができますと伝えらると、お母さんが「祖母がこの卒業生なんです」ということになり、探してみることになりました。しかし、そのおばさんの年齢がわかりません。悩んでいるお母さんを見た息子さん、すかさず「ま、おじいちゃんに電話して聞いてみよう」と提案。「おじいちゃんのおかあさんがもし生きていたら、今何歳なのか聞いて」。お母さんが答える「あ、そっか、そこから数えてみよう」というふうな話が進み、すぐに連絡。おばあさんの年齢がわかったので、年齢から入学と卒業を識別する早見表(事務室常備を参考に、卒業アルバムを開くことができました。旧姓を目次から調べ、ついにおばあさんの写真を発見した時には、歓声があが

りました。私は、心の中ではっとしました。そのお顔立ちや雰囲気、その少年のお母さん、つまり孫娘さんと本当によく似ていたのです。よく、「面影」という言葉を耳にしますが、まさに面影がそっくり、という印象を受けました。

卒業アルバムの中の女学生さんは、息子さんを産みました。そして、その息子さんがお父さんになって、その娘さんの息子さん頼もしくお母さんを手伝いながら、おばあさんの写真を探してあげました。私は、ほんの数分の出来事ではありますが、この三世代にわたるやりとりで心温まる気持ちになり、改めて白鷗の歴史の深さを実感しました。そして、自分にも親、先祖がいて、その流れの中で自分が存在しているのだ、と思い、命の繋がりを嬉しく思いました。前半で触れた、ふざけて女装した男子生徒の写真が、彼の子孫末代まで残ってしまうかもしれない、と心配しつつ、そろそろ稿をおさめたいと思います。お読みいただきありがとうございます。

※来年の白鷗祭も、はりきって事務局内ほか展示物を公開する予定です。日程は5月の「鷗友」及びホームページでお知らせしますので、ご友人ご家族お誘いあわせのうえ足をお運びいただけますと幸いです。鷗友会役員一同、皆様のお越しを心よりお待ちしております。

白55回 駒崎 恵

# <平成26年度（白66回生）入試合格状況>

平成26年4月現在

国公立4年制	男子	女子	卒男	卒女	合計	私立4年制	男子	女子	卒男	卒女	合計	私立4年制	男子	女子	卒男	卒女	合計	私立4年制	男子	女子	卒男	卒女	合計	
茨城	2				2	あ 青山学院	5	11	1	1	18	東京工芸		2			2	〔千葉県〕						
筑波	1	1			2	亜細亜	3	4			7	東京医療保健		2			2	聖徳			3		3	
埼玉	2		1		3	大妻女子		5			5	東京工科	1	1			2	千葉工業	7		1		8	
千葉	1	3	2		6	学習院	3	6			9	東京女子		4		1	5	帝京平成				1	1	
お茶の水女子		1			1	か 北里	7	1	1	1	10	東京成徳	1				1	東京情報	1				1	
電気通信			1		1	共立女子		1			1	東京都市	3	3			6	和洋女子		2			2	
東京	4	1			5	杏林	1		1		2	東京電機	2	2	1		5	〔神奈川県〕						
東京外国語	1	1			2	慶應義塾	4	4			8	東京農業	7	1			8	麻布	2				2	
東京学芸	4	4			8	工学院	4	1	1		6	東京薬科	1				1	関東学院			1		1	
東京工業	1				1	國學院	9	1	6		16	東京理科	11	2	3		16	相模女子			1		1	
東京海洋	1	1	1		3	国土館	1	1			2	東邦		4	1		5	桐蔭学園横浜			1		1	
東京農工	1		1	1	3	駒澤	7	5			12	東洋	13	19	4		36	フェリス学院			1		1	
一橋		1			1	さ 実践女子		3			3	東京有明医療		1			1	麗澤			1		1	
横浜国立	2	1			3	芝浦工業	6	1	2		9	な 二松学舎	1	1	1		3	〔関東〕						
横浜国立	1	2			3	順天堂		2			2	日本	12	6	4		22	国際医療福祉	1				1	
首都大学東京	4	1			5	上智	5	2		1	8	日本獣医生命科学		2			2	東北薬科	1				1	
都留文科		1			1	昭和	1				1	日本女子		1			1	【その他】						
埼玉県立		1			1	昭和女子		3			3	日本女子体育		2			2	立命館			1		1	
ハルカ・龍ヶ崎・マウス		1			1	女子美術		3			3	日本薬科				1	1	近畿				1	1	
岡山県立		1			1	白百合女子		3			3	は 法政	29	16	3	1	49	同志社	2				2	
鹿児島				1	1	成蹊	1	1	1		3	星薬科	5	2			7	短大・専門						
	25	21	6	2	54	成城	2	3	3	2	10	武蔵				1	1	【私立】						
						聖心女子		2			2	武蔵野	1	5		1	7	青山学院女子			3		3	
国公立大学	25	21	6	2	54	洗足学園音楽				1	1	武蔵野美術		5		5	山野美容芸術短期			1			1	
私立大学	266	262	53	22	603	専修	3	10		2	15	明治	22	17	4	3	46	東京家政短期			1		1	
短期大学 他	2	10	0	0	12	た 大正	1	1			2	明治学院	4	13		1	18	【専門学校他】						
4年制大学	291	283	59	24	657	大東文化	1	3	1		5	明治薬科	2	1			3	東京動物専門学校			1		1	
早・慶・上智・理科	41	22	2	4	69	玉川	2	1	1		4	目白		1			1	東京声優アカデミー			1		1	
東京・京都・一橋・東工	5	2	0	0	7	多摩美術	1			ら 立教	9	立教	22	12	1		35	代官山音楽院			1		1	
大学校	1	1	1	0	3	中央	5	2	2		9	立正	1	2			3	東京アナウンス学院			1		1	
						津田塾		2			2	わ 早稲田	21	14	2	3	40	エコール辻 東京			1		1	
						帝京	3	3	2		8	日本工業	1				1	都立広尾看護専門学校			2		2	
						帝京科学	1				1	【埼玉県】						防衛大学校			1	1	2	
						東海	5	2		3	10	共栄	1	2			3	防衛医科大学校				1	1	
						東京家政		4			4	城西		1			1	【公務員】						
						東京家政学院		1			1	獨協	7	8			15	神奈川県警			1		1	
						東京経済		1	2		3	文教	2	7	1		10			18	22	3	1	44
							81	93	24	11	209		170	159	27	10	366							

※白66回生は  
中高一貫校の  
4期生です。

白鷗高校 HPより 抜粋 転載

## 同期会

想い出がいっぱい

8月16日(土)、錦糸町の東武ホテルバントに、白44回の同窓生128名が集い、同窓会を開催しました。鷗友会にリストをご提供いただき、お世話になった先生方にもお声をかけまして、当日は“職員室”と書かれたメインテーブルに、学年主任の村杉先生をはじめ9名の先生方にお越しいただきました。

当時流行した音楽をBGMに、幹事の用意してくれた学生時代の写真がスクリーンに映し出され、みんな高校時代にタイムスリップしたようにはしゃいでいました。終盤には、担任もされていきました音楽の野口先生の指揮のもと懐かしの校歌斉唱。そのメロディはみんなの記憶の中にすっかり残っているんですね♪

仕事に、家庭に、多忙な日々を送っている中、不惑を迎えた仲間達がこうして集えたことに心から感謝しています。卒業以来顔を合わせたことのない者も沢山いましたが、時の隔たりを全く感じさせることなく、多くの仲間とのつながりを再認識することができたこの日の思い出、仲間との絆は一生モノです。今回、残念ながら会に参加できなかった



皆さんも SNS(Facebook, mixi, など) やEメールで、ぜひ近況をお寄せください。そして、大人の階段をもう少し上ったところに、またみんなで会いましょう！  
白44メアド:hakuo1992@gmail.com  
白44回 小沢 勝弘

白鷗16回3年3組  
卒業後50年、来年は古稀です。

平成26年3月に卒業50年目を迎えた白鷗16回3年3組。去る10月24日(金)午後5時から上野精養軒3153店で、担任の小原晃先生にもご出席いただき13名でミニクラス会を開きました。アメリカ



在任の成瀬弘子さんの日本滞在期間中に合わせての急な企画ではありましたが、皆さん都合をつけて出席してくれました。毎回、お世話役の塚本睦子さんが全員に連絡をしてくれ、小原先生を中心にスケジュールが合った人達で、その都度クラス会を開いてきましたが、20名を超えた会も何度もありました。今回30数年ぶりに出席の佐藤鐵夫君も含めて全員の近況報告がありました。来年は古稀。本人のお誘いもあり来年の隅田川花火大会当日、墨田区にある佐藤宅に花火を見に集まることになりました。50年前の在校生の懐かしい思い出話や知らなかったエピソード等に大いに盛り上がり、予定の間をかなりオーバー、元氣な再会を約して、卒業後50年の楽しい集いはお開きとなりました。白16回 大澤 健次郎

## 支部だより

### 【北海道支部】

北海道支部の同窓会を、6月14日(土)に札幌市内のホテルで開催したので報告します。

北海道支部の発足は昭和20年代にまで遡るようですが、私が参加するようになった50年代初めからでもかれこれ40年近くになります。当時、府立第一高女の気品を漂わせる着物姿の大先輩が居並ぶ席は誇らしいものがありました。現在は昭和27年に札幌に移住されたという、現支部長の辻栄子さん(57回卒)が一番の年長者です。



会員が東京を離れて北海道に住まうようになった経緯は様々で、女性は結婚やご主人の転勤などを機に北海道に渡られたという方が多く、二名の男性会員の一人は北海道に憧れて北大に進学したのち大学に奉職、もう一人は北海道庁入庁を機に渡道するなど人生はさまざまで、それぞれに北海道との奇縁を感じます。

日本百名山を踏破された方あり、書道、詩歌を楽しみ、あるいは七十の手習いでピアノを始めた方あり、停年退職後の余暇を日本語ボランティアに勤しむ者あり。

近年はそんなオールドメンバーで固定された感のあった当会に、昨年からは現役の北大生四名などにも声を掛けて新たなメンバーが加わるようになり、さらに今回は鷗友会本部を通じて連絡のあった方二名にも声をかけて、新たに三名の参加がありました。新風が吹き込まれたおかげで会がリフレッシュして、席上、用意した白鷗百年記念誌写真集が世代間の話題を繋ぐ橋渡しとなつて会話も弾みました。

北海道もかつては「しよっぱい川を渡る」と言われた青函連絡船から飛行機に変わり、さらに青函トンネルの開通(昭和63年)で本州と地続きになつて札幌から上野行き寝台列車が走り、やがて新幹線が東京と札幌を結ぶ時代が来る。隔世の感があります。

その時の写真を添えて北海道からの報告とします。

これからも、新しい会員が増えることを願っています。

白20回 木村 博海

### 【東葛支部】

平成二六年九月一四日(日)、柏駅近くにある京北(けいほく)ホールにて、鷗友会員の集いを開催しました。今まで利用していたホテルが閉館になり、別の会場をさがしました。第一のキーワードは、車椅子でも入れるバリアフリーという条件です。しかし完全にこれにかなう場所は見つからず、今年は一四名の参加にとどまりました。



「ひとりひとこと」の時間は、各自自分の専門分野の興味ある話をされ、質問も飛び出し、まるでミニ学会の様子を呈しました。お楽しみタイムでは、「とらひげ危機一髪ゲーム」を行い、早く飛び出たかたを勝ちとする変則ルールで順位を決め、豪華景品をさしあげました。「ペアで温泉招待券をねらっています」と宣言している会員ほど上位にならないようです。でも全員に豪華ではないが美味しいおみやげも配られ、手ぶらでは帰さない集いなのです。来年はあなたの参加をお待ちします。

白17回 中野 愛彦

### △庶務日誌▽

- 4月22日 鷗友160号宛名データ作成
- 同窓会事務局と発送打ち合わせ
- 4月29日 精養軒にて総会の打ち合わせ
- 5月24日 理事会(卒業アルバムデータ化、総会準備、法人化検討)
- 5月16日 卒業後10年の会員向け会費納入促進チラシ作成
- 5月26日 鷗友160号発行
- 16997通
- 6月21日 理事会(法人化検討)
- 旧校舍模型の台を交換
- 6月27日 鷗友奨学金第1回授与。11名
- 東京都次世代リーダー研修生6名(8月より留学)に奨学金授与
- 7月6日 理事会(総会)

### 総会

7月22日 総会写真郵送

8月5日 会員管理システムのメンテナンス

8月6日～8月21日 夏休み

9月1日 東京都次世代リーダー育成道場26年度合格者2名

9月5日 同窓会事務局と鷗友161号作成の打ち合わせ

9月12日 会員管理システムのメンテナンス

9月13日 理事会(白鷗祭、法人化検討、鷗友161号編集)

9月19日 白鷗祭準備

9月20日 白鷗祭

9月21日 白鷗祭(同日で437名来室)

10月12日 都立高校同窓会連絡協議会に土屋理事長出席

10月24日 同窓会事務局と鷗友161号発送打ち合わせ

10月25日 理事会(白鷗祭総括、法人化検討、次年度総会について)

10月28日 開校記念日

### 鷗友会への寄付(敬称略)

48回 故大橋八恵子 ご遺族より 一〇〇、〇〇〇円

### 寄贈図書(敬称略)

白3回 小林 操子

「改定常用漢字の六体」3冊

「短期上達ペン習字」5冊

「ペン字改定常用漢字の三体」3冊

白32回 岡本 淳子

「現代スペインの劇作家

アントニオ・ブエロ・バリエホ

独裁政権下の劇作と抵抗」

### 寄贈物(敬称略)

12回 鶴見 うの

東京府高等女学校 卒業証書

59回 同窓会の記録

白11回 1年5組

「白鷗高校1年5組文集」

(1956～2014) 1冊

白17回 関口 清

昭和39年度生徒名簿 1冊

昭和38年

故浅野裕司君追悼文集 1冊

昭和39年7月14日発行新聞班

「かもめ」1部

昭和39年3月13日発行

「図書館ニュース」1部

昭和40年2月5日発行

「図書館ニュース」1部

### 会費納入のお願いと

### 振込用紙説明

鷗友会は会員の皆様の会費で運営されています。

今号には平成26年度会費一、八〇〇円の振込用紙と奨学金基金への寄付用振込用紙を同封しております。年度会費の振込用紙が入っている方は、会費の納入をお願いいたします。すでに納入された場合はご容赦ください。

奨学金基金への寄付用振込用紙は全員に入れております。

なお、奨学金基金への寄付の額面を一、〇〇〇円と三、〇〇〇円の2種類から二、〇〇〇円の1種類だけにいたしました。ご協力いただければ幸いです。

### 鹿野山清和寮について

千葉県君津市にある鹿野山清和寮は、神代学園に変わる白鷗高校の郊外施設として昭和44年から平成13年までの間、ホームルーム合宿や夏季のクラブ合宿、勉強合宿などに使用されてきました。現在は傷みが激しく、利用されていません。清和寮の維持・管理は、一般財団法人東京都立白鷗高等学校後援会が行っております。今春、後援会理事と若井校長が清和寮の現状確認を行ったことは前回の「鷗友」に若井校長の文章でお知らせしました。後援会は、今年一般財団法人に移行したことにより、新法人の事業目的を果たすため、清和寮の一部改修を進めています。清和寮の利用については、白鷗関係者や卒業生を対象とする方向で検討中です。改修工事が終了し実際に利用できるようになるのは、来年の春以降の予定です。卒業生の皆さまには、懐かしさを覚える施設ではないかと考えます。利用が可能となりました後にはぜひご利用いただければと存じます。

\*一般財団法人東京都立白鷗高等学校後援会とは、白鷗高校・附属中学校の教育活動の支援と清和寮の維持・管理を行っている団体です。

白25回(後援会副理事長)

松浦 菊枝

奨学金基金への寄付

下記の方々から合計 212,000円をご寄付いただきました。心より御礼申し上げます。  
 期間：平成26年4月1日～9月30日（コンビニ振込は平成26年3月25日～9月3日まで）

卒業回	氏名	金額	卒業回	氏名	金額	卒業回	氏名	金額
52回	小佐井 英子	3000円	白 8回	米澤 たか子	3000円	白23回	石黒 敬彦	3000円
56回	塚本 多賀子	3000円	白 9回	高橋 克子	3000円	白23回	松下 善子	3000円
58回	荒井 和子	4000円	白 9回	沢 公子	4000円	白24回	花谷 智枝子	4000円
58回	倉澤 貞子	1000円	白 9回	大和田 勝	4000円	白25回	松本 晶子	3000円
59回	松浦 今子	8000円	白 9回	伊東 彩子	3000円	白27回	富田 孝子	1000円
60回	飯田 雅子	3000円	白10回	村田 美弥子	3000円	白28回	三橋 真次	1000円
62回	菅 睦子	1000円	白10回	岡本 絢子	3000円	白29回	石川 由美子	1000円
63回	鈴木 廣子	4000円	白11回	川崎 具子	4000円	白29回	石原 公雄	5000円
63回	松丸 順子	4000円	白12回	萬羽 愛子	3000円	白30回	高峰 正雄	3000円
63回	武曾 悦子	4000円	白13回	安江 和美	3000円	白42回	長谷川 恵	3000円
63回	鬼山 実子	3000円	白13回	加賀尾 敏子	3000円	高22回	西川 千鶴子	4000円
白 3回	森永 昭枝	3000円	白14回	林 洋子	13000円	旧教員	岡本 武男	8000円
白 3回	林 泰子	4000円	白14回	小宮 賀子	3000円	旧教員	川名 幸雄	5000円
白 4回	大河内 圭子	1000円	白15回	内田 万里子	3000円	旧教員	宮澤 嘉夫	10000円
白 4回	遠山 廸子	3000円	白15回	寺嶋 淑子	3000円	旧教員	小川 嘉一郎	4000円
白 4回	高辻 幹子	3000円	白15回	石井 ふみ子	3000円	旧教員	岡部 幸枝	10000円
白 6回	海老沢 美代子	10000円	白17回	落合 美智子	3000円			
白 6回	斎藤 ツギ子	1000円	白17回	平田 喜代子	3000円			
白 8回	笠原 和子	4000円	白19回	近藤 かほる	4000円			
白 8回	北澤 廣子	3000円	白21回	山田 麻有美	3000円			

(敬称略)

これ以降の方は次号に掲載します。

<支部連絡先>

北海道	57回	辻 栄子
埼玉	白7回	野村 路子
東葛	白17回	中野 愛彦
川崎	白9回	坂本 久悦
湘南	59回	有賀 幸子 (平成25・26年代表)
東海	白12回	今泉 絢子
関西	50回	岡本 歌子

53回	武井 京子	26・8・8
53回	稲村 登代子	25・12・12
53回	笹崎 季子	25・5・29
53回	鈴木ヤス子	26・5・10
52回	佐々木 澄子	26・6・14
51回	加藤 幸子	25・12・16
50回	三木 よし子	26・5・1
49回	宮城 美代子	26・6・17
48回	野口 和子	25・3・17
48回	大橋 八恵子	25・8・31
46回	坪田 ち多子	25・10・21
45回	師田 喜美子	25・2・2
45回	小川 津多子	25・12・2
44回	桂川 いね子	26・2・2
43回	幣原 愛子	17・1・15
旧教員	桑山 恵右	26・3・7
旧教員	小林 兼之	25・12・26
左記の方々の御冥福を 謹んでお祈り申し上げます。		
54回	山田 須美江	25・12・25
54回	武藤 温子	24・1・12
56回	土橋 文枝	26・3・3
56回	ろ谷 久子	26・10・8
56回	佐瀬 静	22・22・8
57回	江口 久代	26・2・22
57回	杉浦 ち多	25・8・2
57回	名取 照子	25・2・2
58回	犀川 きよ子	26・2・26
59回	清水 井洋子	26・7・5
59回	平山 愛子	26・6・9
60回	永井 節子	25・9・15
60回	遠山 節子	25・6・1
60回	乗杉 久子	26・7・15
60回	水川 久子	26・9・27
63回	大泉 徳子	26・4・8
63回	栗原 千恵子	26・1・24
64回	指山 萬里子	26・3・24
白 3回	鈴木 千枝子	25・25・29
白 3回	石川 弘子	25・11・4
白 3回	大橋 徹夫	25・11・22
白 3回	佐藤 登志子	25・20・15
白 25回	荒井 登志子	25・3・11
白 25回	高田 治	24・21・16
白 23回	齊藤 保夫	25・8・11
白 22回	新井 規夫	25・11・11
白 21回	藤村 正子	21・3・11
白 19回	戸田 史郎	25・11・25
白 17回	土谷 建夫	26・4・3
白 15回	高田 武彦	26・3・10
白 14回	植田 俊彦	26・7・21
白 14回	宮本 宜明	26・5・2
白 9回	山梨 茂	22・1・3
白 9回	加賀屋 淳子	19・1・18
白 8回	中村 恵美子	26・3・18
白 8回	石山 喜江	26・1・21
白 6回	佐々木 玲子	26・5・21
白 5回	石川 昭順	26・11・9
白 4回	伊理 由美	25・11・9

逝去された方々

鷗友会  
東京都立白鷗高等学校同窓会

〒111-0041 東京都台東区元浅草1-6-22 都立白鷗高校内 TEL/FAX 03-3844-4284  
 振替 東京 00180-7-3052 会費用 振替 東京 00100-8-34659 一般用  
<http://www.ouyukai.net/> E-Mail: info@ouyukai.net